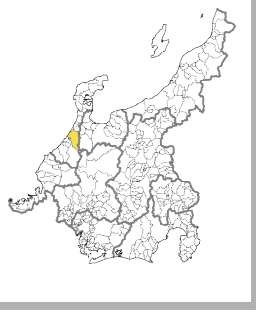
金沢市（石川県）：バストリガー方式

大学と事業者が協定を結び 100 円区間の設定で目標を上回る増客

人口	454,607 人	モード	路線バス
面積	467.77 ㎢	法令	道路運送法 第 4 条
人口密度	971.86 人/㎢	運営主体	北陸鉄道



■ 取組の背景

地域と交通の状況 【通学手段の確保】

- 金沢大学は金沢市の郊外部に位置している。同大学の学生が多く居住している旭町周辺から同大学までのバス路線については、もともと 170 円～200 円の運賃がかかっていた。
- 平成 17 年頃、学生が同区間の運賃を 100 円にしてほしいとの署名を行って関係者に要望していた。
- 一方バス事業者としては、運賃を下げた後、利用者が増えない場合でも、取組みをやめづらいことから、上記の要望に積極的に対応するのは困難な状況であった。

活用メニュー（制度・協議会等） 【公的補助なし】

- 補助制度や協議会等は活用していない。

■ 実現したサービス

取組み内容 【事業者と地域の協定】

- バス事業者による積極的な利便性向上施策の導入を促すため、バス事業者がバス運賃の低減や路線の新設・延長・増便などを実施する場合には、事前に協定した採算ラインを満たさなければ元に戻すことを約する協定（バストリガー協定）をバス事業者と地域住民等との間で締結（市が仲介）する方式が考案された。
- トリガー（trigger）とは、「引き金・誘因」のことで、十分利用されなければ従前の運行に戻すという意味であるが、一方、公共交通活性化のまさに「引き金」になって欲しいとの思いも込めている。
- バストリガー方式を適用した取組みについては、利用状況を毎月又は四半期ごとにとりまとめ積極的に公表することにより、利用者の目標達成に向けた意識の高揚を図る。
- 金沢市が協定締結を仲介する要件は以下の通り。
  - ① 路線・系統の新設・延長・運行ダイヤの大幅な増便や、特定区間の運賃低減など、利用者の利便性向上に資する取組みであること。
  - ② 「事前に設定した採算ライン」を満たすことが、ある程度見込めること。
  - ③ 協定の対象とする取組みが金沢市内のものであること
- トリガー方式の適用方法は以下の通り。
  - ① 「事前に設定した採算ライン＜実施後1年間の運賃収入」の場合は、次年度も継続して実施する。
  - ② 「事前に設定した採算ライン＞実施後1年間の運賃収入」の場合は、バス事業者が従前の運行にもどすことを含めた見直しを行うことができる。
- 今回のケースでは、北陸鉄道バスの市内中心部から金沢大学を結ぶ路線のうち、旭町周辺～金沢大学までの区間について、従前 170～200 円であった運賃を、平成 18 年 4 月より 100 円に設定した。
- 北陸鉄道（バス事業者）と金沢大学はバストリガー協定を結び、対象区間の収入が従前の収入を上回ることを次年度以降の継続の条件としている。

■ 効果と負担

効果 【利用者数の増加】

- 施策実施前の平成 17 年度の当該区間の推計利用者数は、117,090 人であった。
- 運賃を 170～200 円のところを 100 円に設定するので、その減収分を補うためには、221,687 人（189%）の利用が必要であるため、これを目標値とした。
- 平成 18 年度の利用実績はこの目標値を上回る 258,184 人の利用があった。
- 平成 19 年度はさらに前年度実績を上回る 319,340 人の利用があり、平成 20 年度も継続する。

負担 【公的補助なし】

- 大学、市、地域等の追加的負担はなし。
- 大学は乗用車の駐車許可を限定したり、不動産業者へ積極的な PR を求めるといった取組みをしたりしている。

■ プロセスと調整

利用者数の目標を設定 【プロセス：目標設定】

- 運賃を低く設定するため、対象区間における収入が施策実施前の収入を上回ることを次年度も施策を継続する条件として目標を設定した。
- この目標値についてはマスコミで報じられたり、金沢市のホームページでも公開したりしているため、利用する学生にも意識されている。
- 利用者数については IC カード（Ica＝アイカ）により同区間の実績を把握している。現金利用者はカウントされないが、学生のほとんどはカードを利用している。

協定締結への市の仲介 【調整：対地域関係者】【調整：対事業者】

- バストリガー協定は、バス事業者と大学が締結しているが、市はそのためのアイディア出しと仲介を行った。協議体制や特別な検討体制等は構築していないが、市が関係者の仲介を行って施策が実現した。
- なお金沢市は、バストリガー協定によるバス運行を希望する他団体を公募したが、実現には至っていない。

■ 創意工夫・知見・教訓

関係主体への適切なインセンティブ付与 【創意工夫：インセンティブ付与】

- 運賃を下げることにより、その下げ分以上の増客を期待したとしても、実際は増客率が運賃の下げ率を下回る可能性があるため、事業者としては減収になってしまうことを危惧して施策が実施されない場合が多い。
- 本方式では上記のリスクをなくすため、大学と事業者が協定を結び、増客が目標に達しない場合はバス事業者は施策を取りやめることができるとした。この方式により、バス事業者には新たな施策を実施するインセンティブが、また利用者の学生には目標を達成しないと施策が継続されないため、バスを積極的に利用するインセンティブが付与されたことになる。

実績把握の工夫と公表 【創意工夫：運営の工夫】【知見：PR の重要性】

- 実績については IC カード利用者のみに限定すると割り切ったことで、実績把握の追加コストをかけていない。
- 実績については毎月ごとにスピーティーに公表することで、利用促進のための効果的な情報提供となっている。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：金沢市都市政策局交通政策部交通政策課　電話 076-220-2038
参考 URL：金沢バストリガー方式 http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11031/taisaku/trigger/100en.jsp

旭町周辺 ⟷ 金沢大学角間キャンパス間

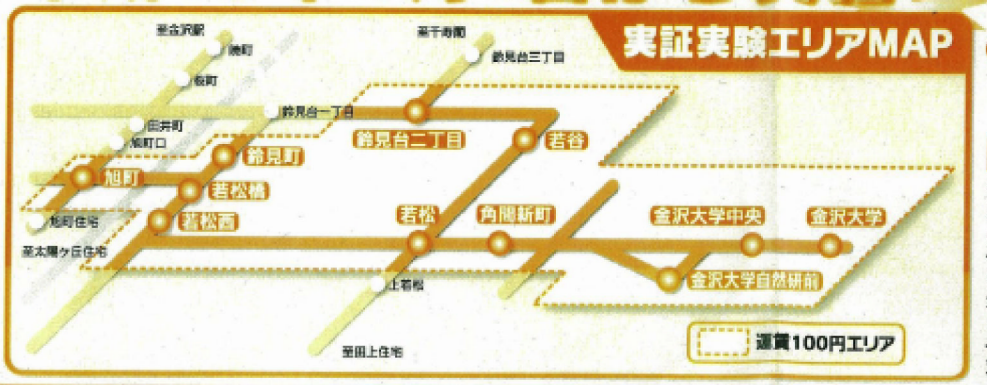
実証実験 路線バス100円運行

北陸鉄道と金沢大学は公共交通の利便性向上に向けた取り組みとして金沢市が新たに提案する「金沢バストリガー方式」を適用し、産学官連携の交通実証実験（100円バスの運行）を実施します。

事前に設定した採算ラインを満たさなければ元の運賃に戻すことになります。100円運行の継続の為、学生を中心とする皆様の積極的かつ継続的なご利用をお願い致します。

エリア内の乗降運賃は **100円!!**

平成18年4月1日から実施



ICa アイカ

アイカをご利用下さい。

対象区間・運賃について

旭町・鈴見町・鈴見台2丁目バス停～金沢大学バス停の間で乗車し、かつ降車する場合は、現行の路線バスの運賃を100円とします。
（現在の運賃は200円又は170円）

この区間を通過しても、乗降の一方でも区間外のバス停を利用する場合は現行運賃とします。
（例：暁町～金沢大学＝250円、旭町～田上住宅＝230円）

対象区間の定期券は発行いたしません。

お問合せ先 北陸鉄道テレホンサービスセンター ☎076-237-5115
北陸鉄道　金沢大学　金沢市

出典：金沢市

■ 資料編

バストリガー利用実績等の公表について

金沢大学と北陸鉄道が、金沢市の仲介のもと、バストリガー協定を締結し、平成18年4月1日より、旭町・鈴見町・鈴見台2丁目から金沢大学の間を100円で運行する実証実験を行っています。

この協定では、その年度に対象区間から得られた収入が、平成17年度に対象区間から得られた収入を上回ることを次年度以降も継続して実施する条件としています。

平成20年3月分の利用実績をとりまとめたので、これまでの利用実績と併せて公表します。

なお、平成19年11月30日時点で、対象区間の運賃収入額が平成17年度の運賃収入額を超えたことから、平成20年度も継続して路線バスの100円運行を実施していきます。

1．19年度目標利用者数

対象区間内における平成17年度の運賃収入額を上回るために必要な利用者数

目標利用者数（※1）	221，687人（189%）
17年度推計利用者数（※2）	117，090人

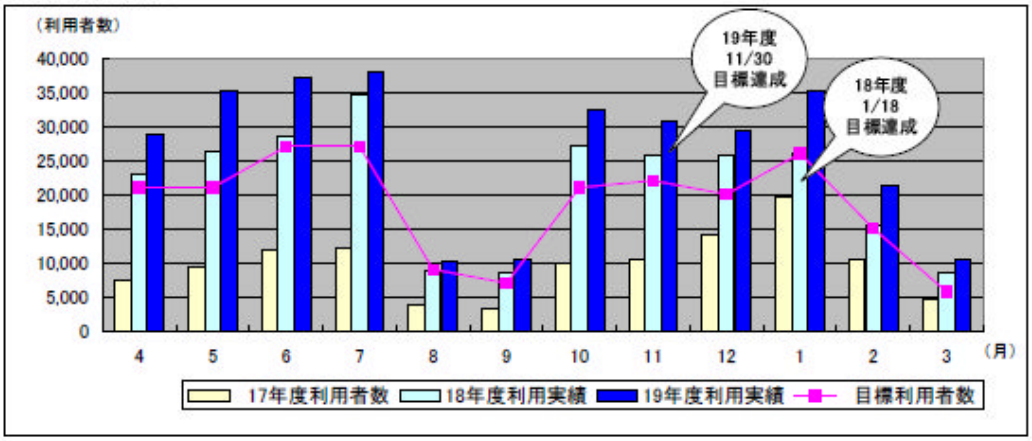
※1 ICa利用者で算出

※2 200円と170円区間の利用者数に加え、定期券利用者や乗り継ぎ割引等を勘案した推計値

2．月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
17年度推計利用者数	7,481	9,420	11,779	12,182	3,742	3,352	9,851	10,577	14,073	19,617	10,462	4,554	117,090
目標利用者数	21,000	21,000	27,000	27,000	9,000	7,000	21,000	22,000	20,000	26,000	15,000	5,687	221,687
18年度利用実績	23,004	26,245	28,647	34,484	8,732	8,646	26,988	25,671	25,641	26,117	15,574	8,435	258,184
18年度累計	23,004	49,249	77,896	112,380	121,112	129,758	156,746	182,417	208,058	234,175	249,749	258,184	
19年度利用実績	28,728	35,258	37,128	38,076	10,106	10,425	32,368	30,717	29,408	35,135	21,402	10,589	319,340
19年度累計	28,728	63,986	101,114	139,190	149,296	159,721	192,089	222,806	252,214	287,349	308,751	319,340	
目標達成率	136.8%	167.9%	137.5%	141.0%	112.3%	148.9%	154.1%	139.6%	147.0%	135.1%	142.7%	186.2%	144.0%
19/17年度	384.0%	374.3%	315.2%	312.6%	270.1%	311.0%	328.6%	290.4%	209.0%	179.1%	204.6%	232.5%	272.7%

3．月別達成状況



出典：金沢市